

平成29年度

川崎市立川崎高等学校附属中学校入学者決定検査

適性検査Ⅰ (45分)

— 注 意 —

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は全部で2つあります。こちらから開くと**問題1**(全5ページ)になります。**問題2**(全4ページ)は反対面から始まります。
- 3 問題をよく読んで、答えはすべて解答用紙の決められたらんに、わかりやすくていねいな文字で書きましょう。解答らんの外に書かれていることは採点しません。
- 4 解答用紙は全部で**3枚**あります。
- 5 計算やメモが必要なときは、解答用紙には書かずに、この問題用紙の余白を利用しましょう。
- 6 字数の指定のある問題は、指定された条件を守り、**問題1**はたて書きで、**問題2**は横書きで書きましょう。最初のマスから書き始め、文字や数字は一マスに一字ずつ書き、文の終わりには句点「。」を書きます。句読点「、」やカッコなども一字に数え、一マスに一字ずつ書きます。ただし、**問題1**の(8)は、その問題の「注意事項」の指示にしたいがいきましょう。
- 7 「やめ」の合図があったら、と中でも書くのをやめ、筆記用具を机の上に置きましょう。

問題 1

次のAとBの文章を読んで、あとの(1)～(8)の各問いに答えましょう。なお、A、Bとも問題作成のため、一部文章を変更しています。

著作権の都合により、省略します。

著作権の都合により、省略します。

著作権の都合により、省略します。

著作権の都合により、省略します。

著作権の都合により、省略します。

[注]

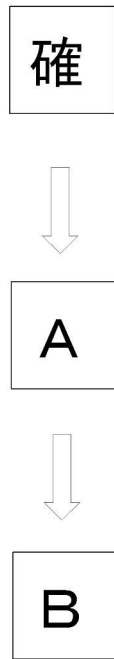
- * 1 受動的…自分の意志からではなく、他に動かされてするさま。
(↑↓ 能動的)
- * 2 主体的…自分の意志や判断はんだんにもとづいて行動するさま。
- * 3 エンターテインメント…人々を楽しませる娯楽。楽しみ、遊び。
- * 4 スパン…時間かんかく的な間隔。期間。
- * 5 妥当…その判断がその場合だけでなく、同類のすべてに当てはまる正しいものであること。
- * 6 気忙しい…気持ちがせかされて落ち着かないさま。
- * 7 ノンヴァーバル…言葉によらない、言葉を用いない。
- * 8 松籟…松に吹く風。それが立てる音。
- * 9 インプット…入力。
- * 10 百聞は一見に如かず…人から何度聞くよりも一度実際に自分の目で見た方が確かであり、よくわかる。
- * 11 欺かれる(欺く)…言葉たくみにうそを言って、相手に本当だとおもわせる。いいくるめる。だます。
- * 12 知性…物事を知り、考え、判断する能力。

(1) 本文中の~~~~線①の漢字「過」の読みをひらがなになおして書きましょう。また、もう一方の読み（音読みであれば訓読み、訓読みであれば音読み）を用いて例にならって短文を作りましょう。

(例) 読み 安い・・・やす

短文 結果を見て安心した。

(2) 本文中の~~~~線部②の漢字「確」をスタートとして矢印の方向の[A]と[B]それぞれに漢字を入れて熟語を二つ完成させましょう。またそれぞれの熟語の読みも書きましょう。



(3) にあてはまる言葉を次の1〜4の中から一つ選び、番号で答えましょう。

- 1 つまり
- 2 そして
- 3 また
- 4 しかし

(4) 本文中の——線部「最近」と同じ構成（組み立て）の熟語を次のア〜オの中から一つ選び、記号で答えましょう。また、その構成の種類をあとのA〜Dの中から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア 国立 イ 読書 ウ 救助 エ 特大 オ 勝敗

- A 上の漢字が下の漢字の意味を打ち消している熟語。
B 上の漢字が下の漢字の意味をくわしくしている熟語。
C 上の漢字と下の漢字の意味が似ている熟語。
D 上の漢字が主語で下の漢字が述語である熟語。

(5) ——線部「人間が『生きる』ことに深くかかわってくる。」とありますが、このように述べる上で、「読む（よむ）」や「聴く（きく）」には、「どのようなこと」が関わっていると筆者は考えていますか。解答らんに合うように十五字以上二十字以内で書きましょう。（句読点「、」やかっこなども一字に数えます。）

(6) あと い にあてはまる言葉を本文中からそれぞれ漢字一字でぬきだして書きましょう。

(7) A、Bの文章の内容として、合っているものは○、そうでないものは×で答えましょう。

1 Aの筆者は、心の中に浮かんでくるイメージは外から与えられるものと個性によるものの二種類があると考えている。

2 Aの筆者は、平均寿命が長くなったために、人は瞬間的な楽しみを「生きること」だと錯覚するようになったと考えている。

3 Bの筆者は、朗読をする場合は、常に読むことと、聞くことがセットになると考えている。

4 Bの筆者は、文字や音以外のものも「読む」「聴く」ことができると考えている。

(8) あなたは普段、話を聞くときに、どのようなことを意識して聞いていますか。そのように聞くようになった理由として、これまでの生活体験をあげながら後ろの「注意事項」に合うように考えや意見を書きましょう。

「注意事項」

○解答用紙2に三百字以上四百字以内で書きましょう。

○原稿用紙の正しい用法で書きましょう。また漢字を適切に使いましょう。

○題名や自分の名前は書かずに、一行目、一マス下げたところから書きましょう。

○三段落以上の構成で書きましょう。

○句読点「。、」やかっこなども一字に数え、一マスに一字ずつ書きましょう。また、段落を変えたときの残りのマス目も字数として数えます。

これで問題1は終わりです。

問題 2 たろうさんたちは川崎市に関する調べ学習について話をしています。下の会話文を読んで、あとの(1)～(5)の各問いに答えましょう。

はなこさん：私、興味深いニュースを見つけたの。

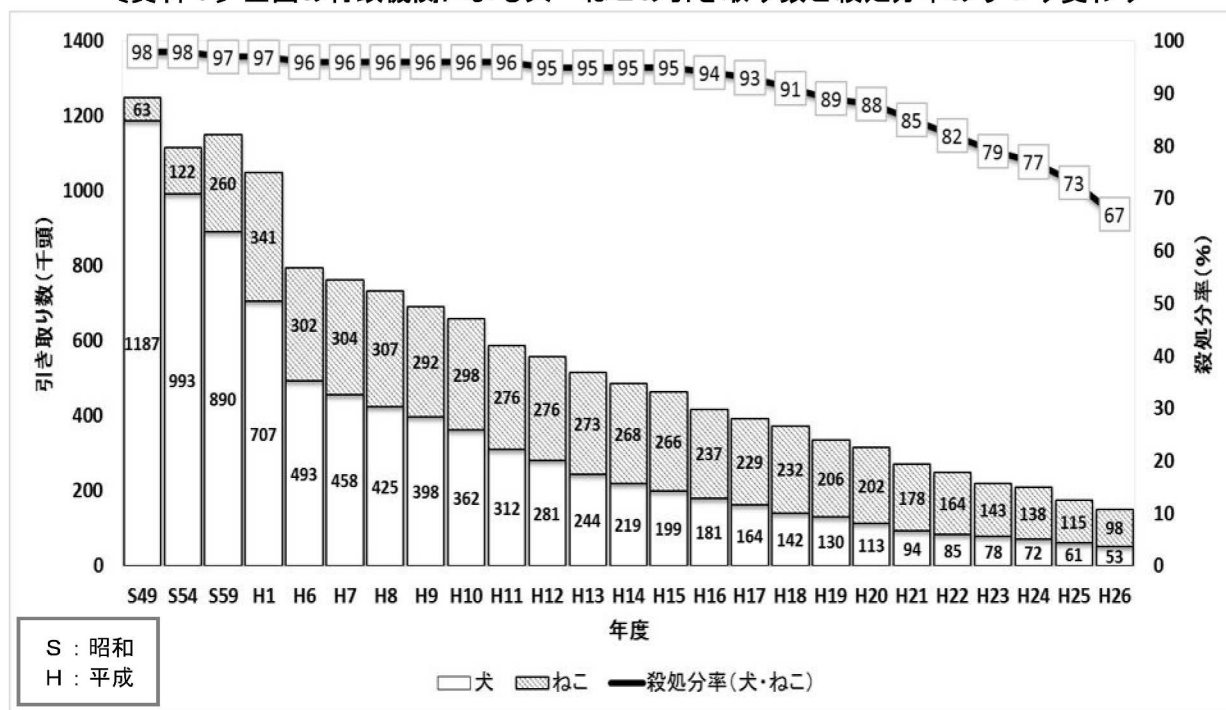
たろうさん：どんなニュースがあったの。

はなこさん：川崎市では平成 25 年度から 3 年連続で、動物愛護センターで殺処分された犬がいなかったそうなの。

たろうさん：動物愛護センターで、犬を殺すってどういうことなの。

はなこさん：もらい手が見つからなかった犬やねこはそうになってしまうみたい。全国では殺処分されている犬やねこの数がどれくらいあるのか疑問に思って調べてみたら【資料 1】を見つけたの。行政機関が引き取った数とその中で殺処分された割合を示したもののだけだ。

【資料 1】全国の行政機関による犬・ねこの引き取り数と殺処分率のうつり変わり



(『環境省自然環境局ホームページ』より作成)

たろうさん：改善はされているようだけど、まだたくさん犬やねこが殺処分されているんだね。川崎市でも犬の殺処分はなくなったみたいだけど、ねこの方はまだ殺処分が行われているんだね。

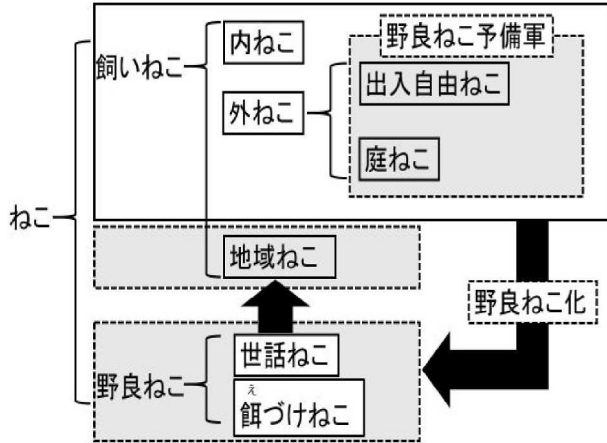
はなこさん：ねこについては完全には達成できなかったみたいなの。それでもかなり減ってはいるみたいだけど。そういえば【資料 1】でも、最初のころは犬の引き取り数の方が多かったのに、いつの間にかねこの引き取り数の方が多くなっているわね。

たろうさん：犬とねこでは何かちがいがあがあるのかな。


はなこさん：もっと調べてみる必要があるわね。

はなこさん：川崎市のホームページで、動物についてどのようなあつかいがされているのか調べてみたら、ねこについては【資料2】、犬については【資料3】を見つけたわ。どちらも動物を飼育する人に向けて川崎市が作ったページだけど。

〔資料2〕ねこの分類表



〔資料3〕犬の飼育について



かんさつ
犬鑑札

登録手数料 3,000 円（初年度のみ）

登録の証明です。

必ず犬に装着しておいてください。

【飼い犬の飼育方法】

飼い犬は丈夫なくさりなどにつなぐ、またはおりなどに収容してつないでおくこと。飼い犬を移動または運動させる場合には、管理・しつけのできる者が、飼い犬を丈夫なつな、くさりなどでしっかりと保持して行うこと。

（『川崎市ホームページ』より作成）

はなこさん：犬を飼うためには法律で定められた決まりがいくつかあるみたいよ。ねこについては川崎市では、分類表を作っているようだけど、この表から①ねこを野良ねこにしないために、どうすればよいかを考えられないかしら。

たろうさん：ぼくは川崎市で犬とねこがどれくらい保護されているかが気になったから調べてみたら【資料4】を見つけたよ。これは路上などの公共の場所で負傷した犬やねこなどが保護された頭数をあらわした表だよ。

〔資料4〕負傷動物の動物愛護センターへの収容数のうつり変わり

単位：頭

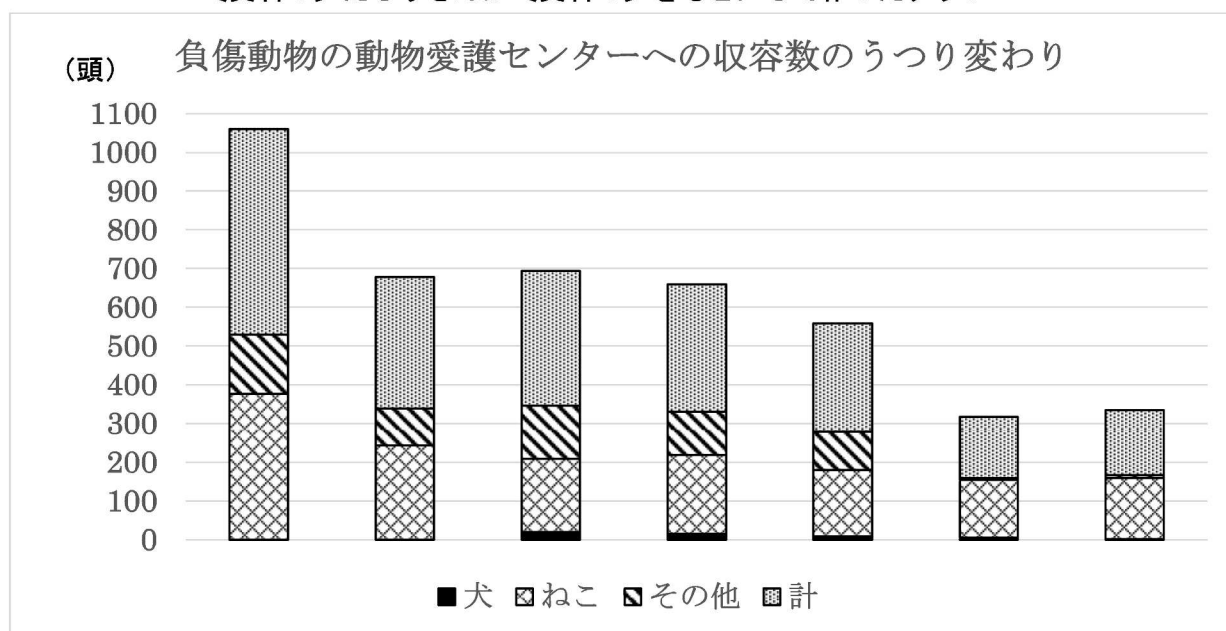
年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
犬	0	0	20	16	9	5	2
ねこ	376	244	189	203	172	149	158
その他	154	95	138	111	98	5	7
計	530	339	347	330	279	159	167

（『川崎市における動物行政の方向性と動物愛護センターのあり方』より作成）

はなこさん：見比べてみると、犬とねこではかなりちがいが見られるのね。②このちがいはどこから生まれるのかしら。

たろうさん：分析を進めるために、数字だけ並べるよりも見やすくなるかと思って、【資料4】をもとにして【資料5】を作ったよ。

【資料5】 たろうさんが【資料4】をもとにして作ったグラフ



はなこさん：すごいわ、たろうさん。確かにグラフにすると数字だけよりもイメージがつかみやすいわね。でも、私が見ただけでも2つ変なところがあるわよ。

たろうさん：本当だ。③手直しをしないとね。適切なグラフを作るのは難しいけど、実際に作ってみる大切さがわかったよ。

はなこさん：【資料1】や【資料4】を見ると、殺処分の数や収容される数が減ってきていることがわかるわ。今後もこれらを継続するにはどのような取り組みが必要かしら。

たろうさん：これらを継続していくために、法律にも色々な変化が見られるよ。

はなこさん：どんな変化なの。

たろうさん：「動物を飼う人の責任として、できる限り[]義務がある」という内容の文章が付け加えられたのが、最近では大きな変化みたいだよ。

はなこさん：動物を飼う人には当たり前の心構えこころがまのように思えるけど、実際にはそれができていない人もいるということなのね。私たちにもできることはあるかしら。

たろうさん：これからも人間と動物がいっしょに暮らせる社会の仕組みについて考えてもらえるような発表の準備を進めよう。

- (1) 【資料1】から読み取れる情報として正しいものを、下のア～オの中から1つ選び、記号で答えましょう。
- ア 平成元年（1年）以降、犬とねこの引き取り数はそれぞれ、毎年減少している。
- イ 平成元年（1年）以降、犬とねこの殺処分率は、毎年低下している。
- ウ 昭和54年には、犬とねこの殺処分数の合計は100万頭を上回っている。
- エ 平成元年（1年）には、犬とねこの殺処分数の合計は100万頭を下回っている。
- オ 平成26年には、犬とねこの殺処分数の合計は11万頭を上回っている。
- (2) 下線部①について、【資料2】のねこの分類表の中でもっとも「野良ねこ」になりにくいねこをぬき出して書きましょう。
- (3) 下線部②は、はなこさんが【資料4】を見て疑問^{ぎもん}に思ったことの発言です。「ちがひ」が生まれた理由として考えられることを、ねこについては【資料2】、犬については【資料3】をもとに、それぞれ解答らん^{とらん}に合うように書きましょう。
- (4) 下線部③でたろうさんが気がついた【資料5】のグラフの誤り^{あやま}として考えられることを2つ書きましょう。
- (5) 文中の にあてはまる言葉を解答らん^{とらん}に合うように書きましょう。

これで問題2は終わりです。

適性検査Ⅰ 解答用紙 1

問題 1

受検番号
氏名

(1) 読み
短文

(2) 確
A
熟語の読み

A
B
熟語の読み

(3)
熟語
(4)
種類

(5) 「読む」(よむ)「や」聴く(きく)「には、 と筆者は考えている。	

(6) あ
い

(7) 1
2
3
4

(8) の解答は解答用紙 2 に書きましょう。

下のらんには記入しない

(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	合計

